

「信念を持って実行することとは？」 ～あなたはしっかり結ばれていますか？～

ヨハネ15：1～16

「人間関係が人生を左右する」と言われています。ある大学の先生がこのような研究しました。悪い状況にある人は、子々孫々悪い状況のまま生活していこうと思われていました。だからその事を証明するために調査しましたが、結果は違っていました。たとえ親が悪くても近所にいる人たちが、子供たちに愛を与えることが出来たら、子供たちは愛を受け取って過ごすことが出来るようになるようです。愛を持って過ごすことが出来ると、生まれる所が悪くても愛を持って生活することが出来、変わることが出来るようになることがわかりました。たとえ、世の中で愛されている事を実感できなかつたとしても、教会は愛されていることを知ることが出来る場所です。愛し合うことが出来れば喜びに満たされることが出来ます。「ありがとう」と言われると、幸せに過ごすことが出来ると思います。人は愛を流すために感謝が無いと流し続けることが出来ません。ペテロは条件付きでしかイエス様を愛せませんと言いました。イエス様はそれでもいいからと言いました。人は見返りを求めてしまうものです。携帯電話は電池と電波がなくては意味がありません。その2つが必要になります。イエス様は電波と電池が必要だということを語られました。

「感謝を捧げる」

ピリピ4:6 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。

感謝は携帯電話で言うと、電波になります。私たちは「ありがとう」と言われると嬉しいものです。毎日4つの感謝を探すと3ヶ月で良い変化を起こすことが出来るようです。ダビデは「感謝せよ」と賛美しています。嫌なときも神様に感謝すると変えられていきます。「ありがとう」は環境を変えていきます。電波のないことでは電池がとんでも消耗します。感謝がなくなると疲れていきます。また文句がある人はどんどん悪くなっていきますが、感謝をすることが出来ればどんどん良くなっていきます。家でも友達との間でも感謝を表していきましょう。

「喜びにあふれる」

Iテサロニケ5:16 - 18 いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。

喜ぶことは電池のようなもので、感謝と喜びはセットです。喜んでいますか？ありがとうと言われると喜びがあると思います。喜んでいくことは大切です。喜びを得るために愛されていることを知らなくてははいけません。喜んでいくために、神様につながってはいけません。流すだけでは枯れてしまいます。だからつながってはいけません。困っている時に考えるのは不平不満しかでなくなります。そうするとあなたの電池が無くなっていきます。そして正しい判断がすることが出来なくなります。だから結びついていなければいけません。

「愛し合う」

ピリピ4:7 そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

心に安心が（平安）与えられます。私たちが一番いつも求めているのは平安、安心です。赤ちゃんは喜びをいっぱい感じているそうです。でも1才半過ぎると愛されないことを感じるようになります。人は3歳ぐらいまでに人格が形成されるようです。それまでが、たとえ悪い状況で3才以上になっても、愛を感じる事が出来れば変わることが出来るようです。ストレスを感じると頭でわかっても、否定的になってしまいます。悪いことしか考えることが出来なくなります。そして孤立し孤独感を感じてしまいます。また愛を感じる事が出来なくなります。アメリカの離婚理由のトップは「ありがとう」と言われない事にあるそうです。人は人だけの関係では、愛はやがて冷めてしまいます。でも神様がいのならいつまでも変わることなく愛し合うことが出来ます。

ヨハネ15：13 - 14人がその友のためにいのちを捨てるというこれよりも大きな愛はだれも持っていません。わたしがあなたがたに命じることをあなたがたが行うならあなたがたはわたしの友です。

イエス様は私たちに愛を伝えるために、十字架にかかってくださいました。私たちは愛されています。その愛を受け取ることが出来れば、周りの人へも愛を流す事が出来、その人が愛を受け取り、感謝をすることが出来るようになります。イエス様の愛を受け取って、その素晴らしい愛を流すものになっていきましょう。（要約者：渡辺 将宏）